

※申請者名：株式会社木内酒造 1 8 2 3、品目：清涼飲料水、ビール

1. 輸出における現状と課題

『これまでの現状及び概況』

当社は1995年に「常陸野ネストビール」の製造事業に参入した。世界のビールコンテストで数多くの受賞歴がある。1999年より海外への輸出を開始、国内・輸出ともに順調に推移してきた。

現在世界40カ国に販売網を持っており、当社製造のビール・清涼飲料水(ノンアルコールビール)を販売する体制が構築されている。

当社は、「地域に根ざした農作物を使った個性的で、日本の文化や伝統を踏まえた商品造り」を行うことにより、国内外にそのオリジナリティを発信してきた。約200年に及ぶ日本酒造りで培ったこだわりのノウハウによるモノ造りというストーリーが、世界での支持を得ている。

また、2021年5月より製造・試験販売を開始した清涼飲料水(ノンアルコールビール)は、コロナ禍での需要により、国内外にて売り上げが急伸している。

『課題』

特に海外代理店より、高度な食品衛生基準への対応を求められており、この要件を満たした品質を確保できる仕組み、設備が必須である。

当社の強みを活かした独自性の高い商品の製造とブランド化が必要。

また、アルコール事業に頼らない、清涼飲料水(ノンアルコールビール)製品の開発と販売拡大を目指す。



地域の農産物を使ったこだわりのビール

2. 輸出事業計画の取組内容

①既存ビール事業において更なる販売増を目指すために、FSSC22000の要件を満たした上で製品の品質の安定と安定した製造数量を確保できる機械・機器及び施設の整備

安全な食品を提供するため食品安全マネジメントシステムを確立するため、FSSC22000認証に対応したビール及び清涼飲料水(ノンアルコールビール)の製造に係る施設整備及び機械・機器の導入を行う。

②当社の強みを生かした製品製造

農業からくる必然性、歴史を踏まえた商品造りを継続、進化させる。地元の農産物を使った製品を通して、世界に通用するローカル性や文化をも発信する。(例；茨城県産独自麦芽によるハイスベック商品。茨城県産福来みかんを使ったエール。)

③アルコール事業に頼らない清涼飲料水(ノンアルコールビール)の開発と販売拡大

約200年に及ぶ日本酒、そしてビールで培った発酵技術により、他社にはない旨味と芳醇さを備えた清涼飲料水(ノンアルコールビール)を開発して拡大生産する。日本酒酵母によるノンアルコールビールの開発など、新たなアイテムも試作中。アルコール飲料メーカーにとって逆風となるコロナ禍のような状況にあっても、商品群の多角化により売上の安定化をはかる。

④展示会への参加

クラフトビール、清涼飲料水(ノンアルコールビール)販売の更なる飛躍のため、展示会に参加し、事前商談を進める。海外JETROと連携して積極的に参加できる体制を構築する。

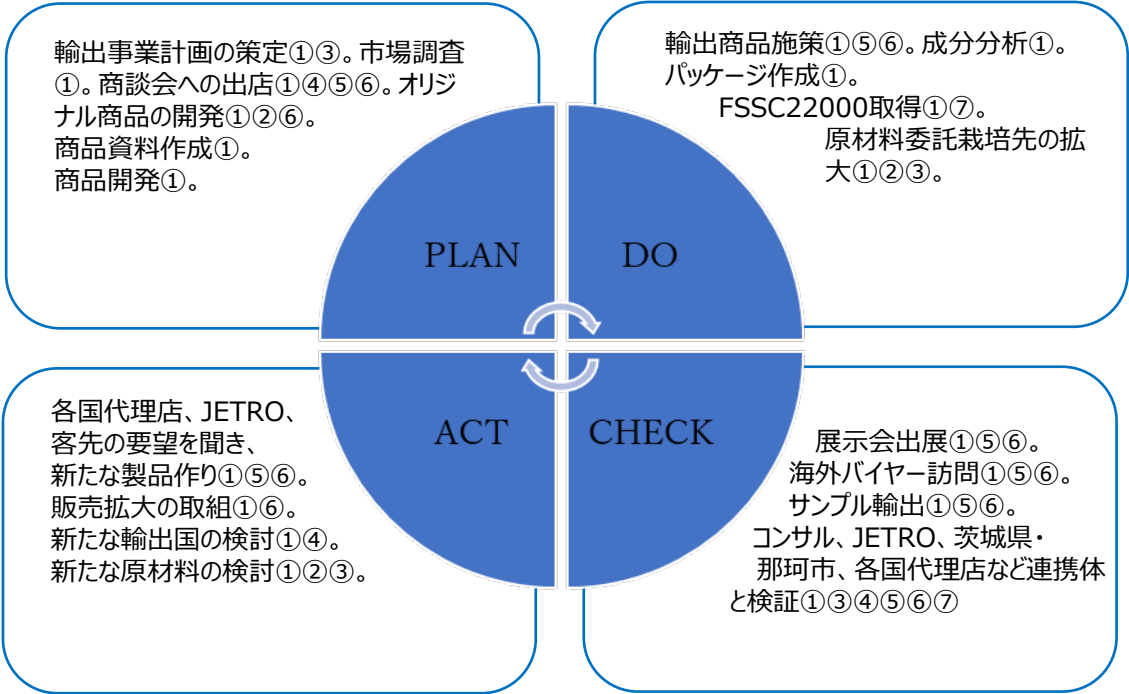


今後展開していく清涼飲料水(ノンアルコールビール)のイメージ図

※申請者名：株式会社木内酒造 1 8 2 3、品目：清涼飲料水、ビール

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

茨城県には原材料農業生産の支援、及びJETRO茨城と共に、輸出の支援を依頼。
海外JETROには、現地での広報活動の支援を依頼する。



- ①(株)木内酒造1823
- ②原料生産者・JA
- ③茨城県・那珂市
- ④JETORO茨城
- ⑤JETORO各国
- ⑥各国代理店
- ⑦フーズアーキテクト社

4. 輸出目標額

(輸出品目: 清涼飲料水(ノンアルコールビール))				(輸出品目: ビール)			
	現状	目標年	備考		現状	目標年	備考
	(令和3年6月期)	(令和10年6月期)			(令和3年6月期)	(令和10年6月期)	
輸出額(千円)	2,368	32,368		輸出額(千円)	238,907	358,907	
輸出量(kl)	8	107		輸出量(kl)	686	1,046	
輸出先国	イギリス、オランダ、スウェーデン、スペイン	アメリカ合衆国、イギリス、オランダ、スウェーデン、スペイン	* 清涼飲料水(ノンアルコールビール)製造開始令和3年より)	輸出先国	アメリカ合衆国、フランス、イギリス、シンガポール、イタリア、スウェーデン、オーストラリア、中国	アメリカ合衆国、フランス、イギリス、シンガポール、イタリア、スウェーデン、オーストラリア、中国	